

臨床心理学専攻(修士課程)		1年			2年		
		前期	後期	特別学期	前期	後期	特別学期
DP1:知識・理解	1-1	臨床心理学に関する様々な理論や専門の知識を習得している。	臨床心理学特論Ⅰ	臨床心理学特論Ⅱ		課題研究	修士論文
	1-2	臨床心理学に関する基本的な研究方法についての知識を有している。		臨床心理学研究法特論			
	1-3	臨床心理学関連領域の基礎的知識を有している。	臨床教育学特論 社会心理学特論	発達神経心理学特論	犯罪心理学特論 精神医学特論 学校臨床心理学特論		
DP2:技能・表現	2-1	種々の心理査定技法や面接技法を実施することができる。	臨床心理査定特論Ⅰ 臨床発達査定法特論	臨床心理査定特論Ⅱ	投映法特論		
	2-2	文献のクリティカル・リーディングを通して得た新たな視点や知識を自らの研究に生かすことができる。	教育心理学特論	こども発達心理学特論			
	2-3	多様な心理臨床実践に関する研究・調査をおこない、発表など実施することができる。					
	2-4	コンピュータを使って、収集したデータを適切に処理し、文書を作成することができる。		心理統計法特論			
DP3:思考・判断	3-1	心理臨床家として適切に治療的な判断ができる。	臨床心理基礎実習	臨床心理面接特論Ⅱ	臨床心理実習Ⅰ 発達臨床実習Ⅰ	臨床心理実習Ⅱ 発達臨床実習Ⅱ	
	3-2	「科学の知」と「臨床の知」を調和させた考え方ができる。					
	3-3	一人ひとりに適した改善法を提案できる。					
DP4:態度・志向性	4-1	人や社会の問題を扱っていくうえで必要とされる誠実性および倫理観を有する。					
	4-2	地域の心の健康活動にかかわる人的援助システムのコーディネーティングやコンサルテーションにかかわる能力を有する。					
	4-3	一人ひとりに受容的・共感的に接し、ラポールを築く力を有する。	臨床心理面接特論Ⅰ				

